※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０１

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	公共 703「詳述公共」　（実教出版）						
副教材等	2026 ズームアップ公共資料　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

民法改正により１８歳成人となる中、公民的な観点で現代社会の諸課題を捉え、いかに克服していくかを主体的に構想し、また他者と議論する力を身につけてほしい。そのためにもこの科目の持つ意義は大きい。テーマを精選し、生徒がより主体的に取り組める工夫をこらしながら授業を展開したい。生徒には現代社会の諸課題について多角的に情報を収集することや、自分なりの考え（答え）を出してみること、他者の意見も傾聴することの大切さを伝える。

2　学習の到達目標

現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。（知識及び技能）

現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。（思考力・判断力・表現力等）

よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・各単元のテーマについて正しく理解している。 ・各単元のテーマについて諸資料を適切に読み取る技能を身に付けている。	・各単元のテーマについて多面的に考察している。 ・各単元のテーマについて公正に判断する力を身につけている。 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につけている。 ・各単元のテーマについて適切に表現している。	・よりよい社会の実現を視野に，職業や社会参加の意義への深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	公共の扉	(1)社会を作る私たち (2)人間としてよく生きる (3)社会とは何か	a:人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること，伝統や文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b:社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	小テスト，定期考査，準拠演習ノート	定期考査，レポート，ノート，準拠演習ノート	活動の様子の観察，レポート，口頭発表
2学期	よりよい社会の形成に参加する私たち	(1)日本国憲法の基本的性格 (2)日本の政治機構と政治参加 (3)現代の経済社会 (4)経済活動のあり方と国民福祉 (5)国際政治の動向と課題 (6)国際経済の動向と課題	a:法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 b:自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト，定期考査，準拠演習ノート	定期考査，レポート，ノート，準拠演習ノート	活動の様子の観察，レポート，口頭発表
3学期	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	a:第１部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに，第１部及び第２部で習得した知識及び技能を活用している。 b:地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述している。 c:よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，諸課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト，定期考査，準拠演習ノート	定期考査，レポート，ノート，準拠演習ノート	活動の様子の観察，レポート，口頭発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度